

テレワーク導入企業の体験談

社会体験アプリの開発を支える 社内コミュニケーション

株式会社キッズスター 経営管理部 佐野 康倫

ぽこぽこランド



目次



- 弊社について
- テレワークによる課題
- 弊社の抱えていた課題
- コミュニケーション施策3選
- テレワークを続ける理由
- テレワークによるメリット
- まとめ

弊社について



佐野 康倫 (さの やすのり)

株式会社キッズスター
経営管理部
人事総務班




▼プロフィール

IT企業で、コンサルティング営業や人事業務に従事。

2022年6月、社会体験アプリ「ごっこランド」を運営をする

株式会社キッズスターに入社。同社の人事企画・採用・労務を担当。

本日は、テレワーク勤務主体の就業環境の中で、弊社が実施しているコミュニケーション施策についてご紹介します。

社名	株式会社キッズスター
代表者	代表取締役 平田全広(ひらたまさひろ)
設立	2014年10月20日
所在地	〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 9-5 フジタ・インゼックスビル 5F
資本金	9000万円
主要株主	株式会社くふうカンパニー 
事業内容	ファミリー向けデジタルコンテンツ事業

子どもの“夢中”を
育て、応援する

“夢中”になる。 _____

好きなコトやモノに熱中していると、時間の経過を「あっというま」と感じることもあるはず。それはきっと誰もが一度は経験したことがある夢の中の世界。子どものころ、夢中になって何かに取り組んだ経験が自分を形づくり、個性を育てていきます。

_____ すべてのはじめは子どもの夢中から。




「実在する企業のお仕事体験やサービス体験ができる」知育アプリ

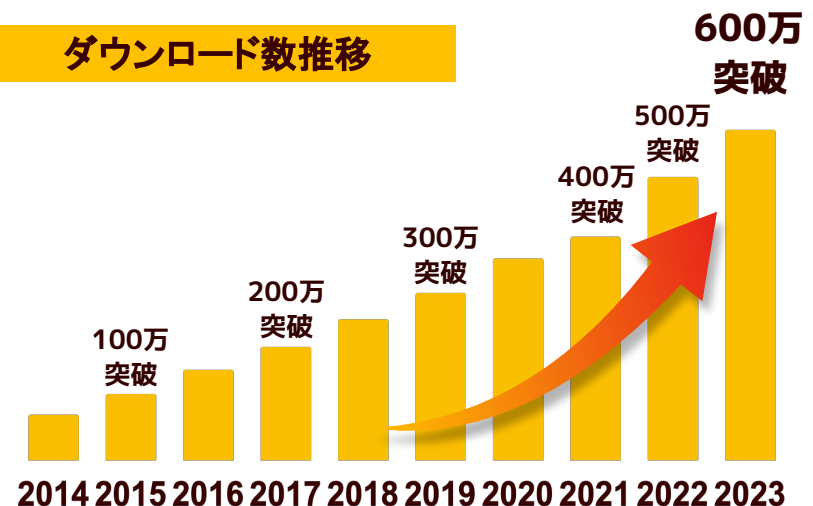


- 出店企業数 **70**以上
- 累計ダウンロード数 **670**万突破
- 課金なし／外部広告なし

1つのアプリに複数企業のコンテンツ



ダウンロード数推移



ごっこランド紹介動画(21秒)



ごっこランドプレイ中の写真



テレワークによる課題

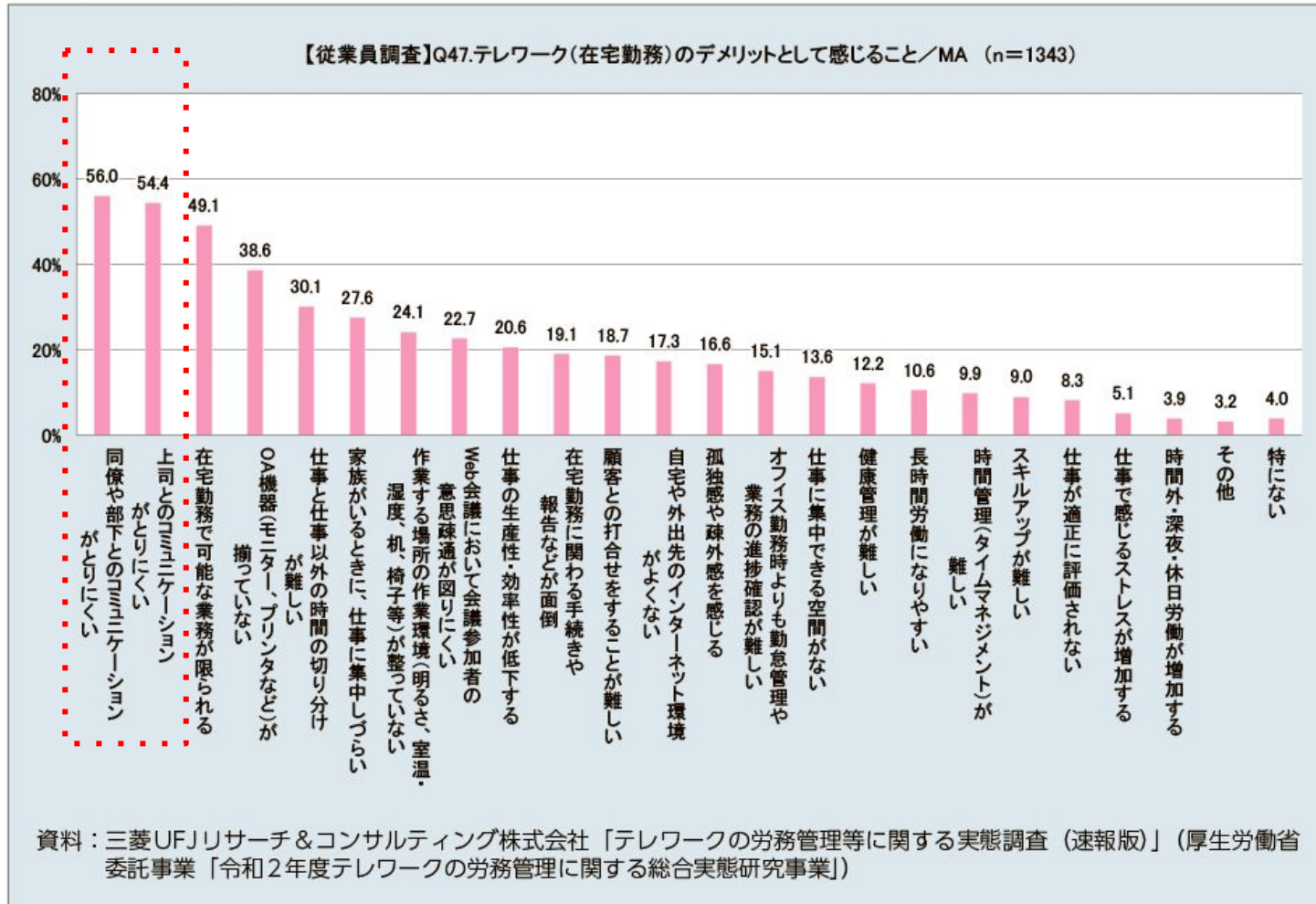


勤務形態	内容
ハイブリット勤務	<p>テレワークが基本</p> <ul style="list-style-type: none">● 状況に応じて、テレワークと出社を自由に組み合わせ● 月に1度出社推奨DAYあり● 出社日を設定しているチームもあり <p>顔を合わせてアイデアを出し合ったり、何気ない会話をしたり、出社によるメリットと、移動時間の削減や集中して作業に取り組めるなどのテレワークによるメリット、それぞれの良い点を掛け合わせた働き方を実現しています。</p>
フレックスタイム制度	<p>11:00～16:00をコアタイムと設定</p> <ul style="list-style-type: none">● 出退勤の時刻は、社員の裁量に任せる● 休憩時間も柔軟に <p>これにより、自己啓発のための習い事やパパ・ママ社員のワークライフバランス、通勤ラッシュのストレス軽減など社員の働きやすさに繋がっております。</p>

- **社員や部門間での不公平感の発生**
- **セキュリティリスクの高まり**
- **勤務実態の不透明性**
- **勤怠管理や人事評価の難しさ**
- **コミュニケーションやチームワークの希薄化**
- **従業員の環境変化での身体的・精神的リスク**

テレワークを実施している多くの企業で上記のような弊害が発生している

図表 1-1-2-3 テレワークのデメリットとして感じる事 (従業員調査)



出典：厚生労働省「テレワークのデメリットとして感じる事(従業員調査)」

いくつかのデメリットの中でも、特にコミュニケーションが課題となっている

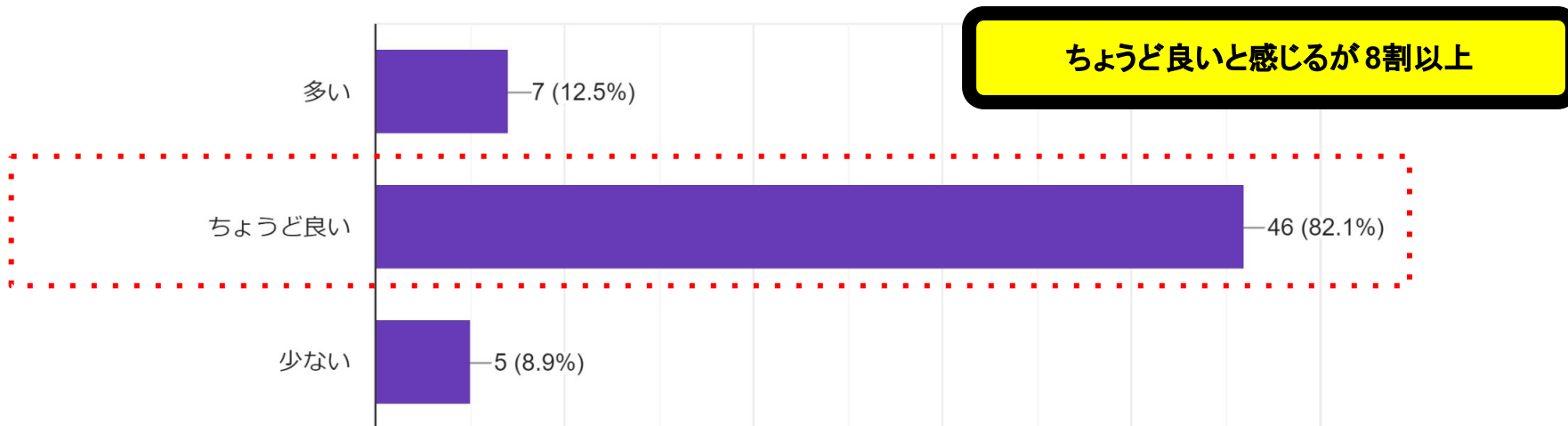
弊社が抱えていた課題



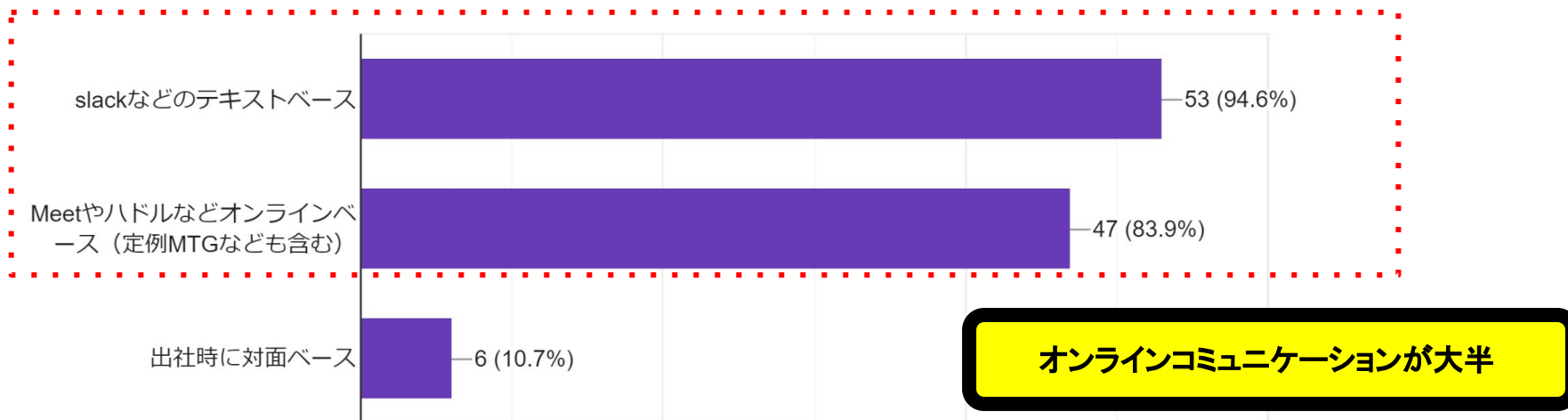
コミュニケーション施策実施前に出ていた社内の声

- 既存メンバーの人となりがわからない。
- 普段交流をするメンバーが、自チーム or 業務で関わる方に偏っている。
- 業務で関わらない人とは、話す機会が少ない。
- 業務中に雑談をする事が無い

▼業務上のコミュニケーション量にどのように感じていますか



▼業務上のコミュニケーションをとる際に何を利用されることが多いですか



社内アンケートを実施し、コミュニケーションの量・質などの状況を適宜確認します

弊社でもこのように、たくさんの課題がありました。

そのため、社内アンケートなどで従業員の声を

適宜聞きながら、様々な施策を実施しました。

次項では、弊社の コミュニケーション施策 について、

ご紹介させていただきます。

課題を解消するための コミュニケーション施策 3選



ライトニングトーク (通称:LT会)



ライトニングトーク (LT会)とは、
短いプレゼンテーションを指します。稲妻 (Lightning)のようにスピード感のある
プレゼンテーションという意味合いからその名がついています。

ライトニングトークの概要

目的	最近入社された方や、他チームで交流が無い方に向けて、弊社で働く人を知ってもらうために始まったオンライン企画
利用ツール	Google Meet
頻度	月1回
対象	役員・従業員(チーム毎に毎月 1人選出)
内容	自己紹介・チームの役割紹介など
参加人数	約50人(全体の約9割が参加)
当日の流れ	①イントロダクション: 5分 ②LTタイム: 50分 ③クロージング: 5分

はじめまして
です

ライトニングトークで話やすくしたい…かもしれない



発表時間は、1人5分～10分程度。1時間で5名ほどを毎月発表者を変えて実施。



アニメーターチームの歴史

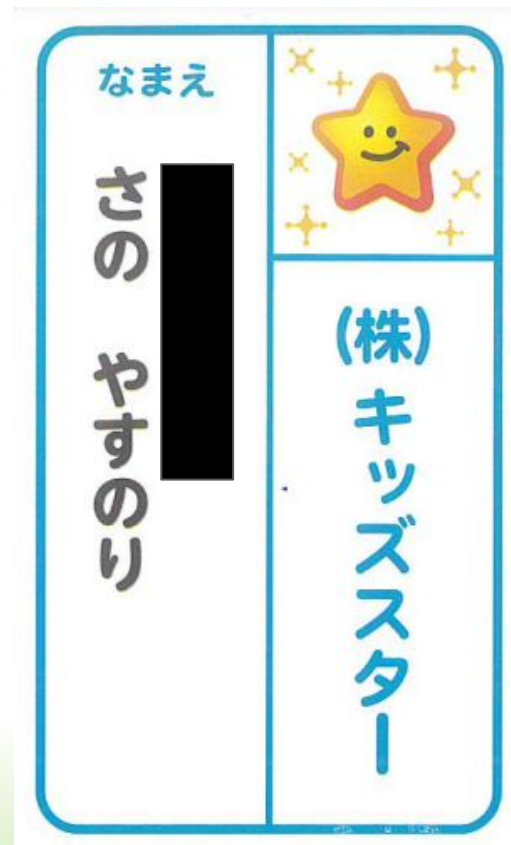
2016 - 2024

1巡目は、個人の自分史がメイン。発表者の人となりを知る機会となりました。
2巡目からは、チームの機能紹介や歴史、役員の発表が追加され絶賛実施中でございます。

正解は

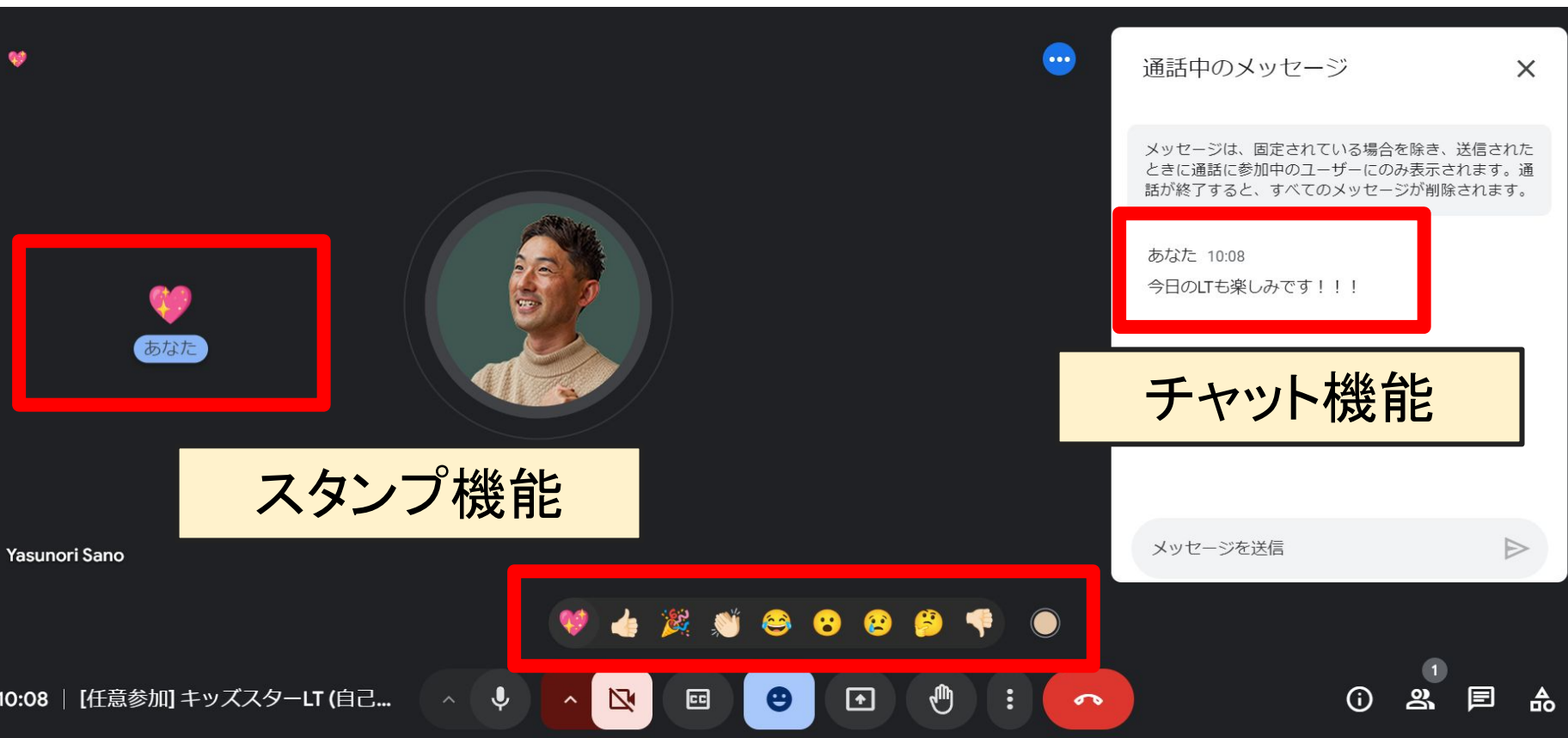
びーちんずが
このやすのり

■には何が入ると
思いますか？👉



発表中に、チャット欄を活用したクイズや質問もされます。発表内容によっては、同じ趣味を持つメンバー同士が見つかり、共通の趣味を持ったメンバーのチャットグループを作成されたりします。

発表中にメンバーの反応を体感できる



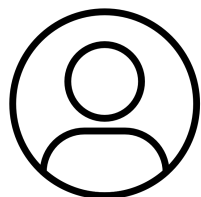
発表者のコメントに対してスタンプやチャットで都度反応が見られます。
チャット欄への書き込みに対して、その場で回答したり、QAタイムの場で振り返ったりします。

いつでも過去のアーカイブを確認することができる

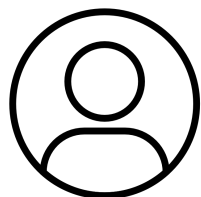
Aa 名前	📅 開催日	☀️ ステータス	📁
📖 キッズスターLT会 (自己紹介LT) 2024/07	2024/07/31	● 未実施	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2024/06	2024/06/26	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2024/05	2024/05/29	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2024/04	2024/04/24	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2024/03	2024/03/27	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2024/02	2024/02/28	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2024/01	2024/01/30	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT 忘年会議2023	2023/12/26	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT会 2023/11	2023/11/30	● 実施済み	📖 自己紹介LT
📖 自己紹介LT 過去回まとめ		● 実施済み	📖 自己紹介LT

発過去の発表内容(録画と資料)は、従業員が見られるオンライン上の掲示板にアップされています。
これにより、いつでも見返すことが可能です。

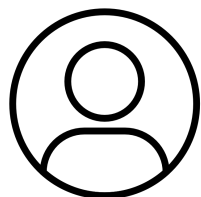
社員紹介LT会に参加したメンバーの反応



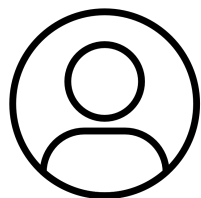
毎月のお楽しみ自己紹介 LT、今回も楽しすぎて一瞬でおわった ... !
コメント欄を見るのも書くのも楽しいんですよね~。
いつもの3倍調子に乗ってコメントしてます !



今まで知らなかった一面、意外な面もたくさん見せていただき、
人の深みを感じますね



人に歴史ありですね。どっかでつながっていたり。趣味とかお仕事の風景
のご紹介もとても興味深かった !
人のことを知ると、より親しみを感じる



今日のもまた激しい自己紹介 LTでした... !
ロック系好きの方けっこう多いっぽくて嬉しいです !

シャッフルランチ



シャッフルランチの概要

目的	入社歴の浅いメンバーと既存メンバーの交流を目的としたランチ会
頻度	月1回
対象	参加希望の従業員のみ
内容	オフィス周辺の飲食店でランチ
ランチ代	1人1,500円を会社負担
参加人数	参加延べ人数: 406名 ※社員は、少なくとも一度は参加している
実施期間	2022年7月開始～現在

シャッフルランチ当日までの流れ

- **参加希望者の確認**
- **希望者を、ランダムで振り分けチーム決め**
- **チーム毎のチャットグループを作成**
- **チーム内で、お店を選定し、予約する。
自然と役割分担がされる。**
- **当日は、たっぷり 1時間半、ごはんと会話を楽しむ**

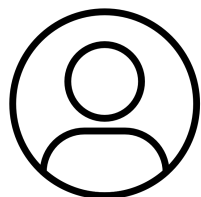
食事の好き嫌いの確認や、お店の候補出し、予約担当などチーム内で自然に役割分担が進みます。そのため、業務コミュニケーションとは異なる自然なコミュニケーションが醸成されます。

コミュニケーション施策②: シャッフルランチ

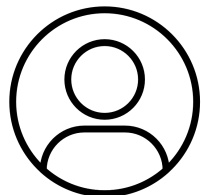


ランチ時間が1時間30分あるので、ゆっくりお話できたり、オフィスから少し離れたお店への移動も可能。焼肉やコース料理などが人気です。いつもより少し贅沢できると参加者も満足しています。

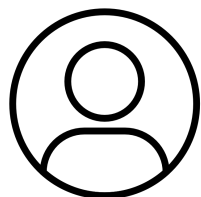
シャッフルランチに参加した直近入社社員の反応



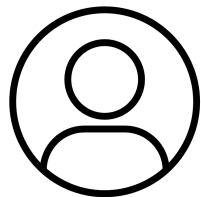
直接お会いしてお話出来たので、相談しやすくなりました。



普段、業務で関わる事の無い人とのランチで楽しかったです。



実際にお会いした皆さんが本当に素敵な方が多くて、これから一緒に働いていくイメージが持てて良かったです。



会社負担でおいしいご飯を食べてお話出来て楽しい。

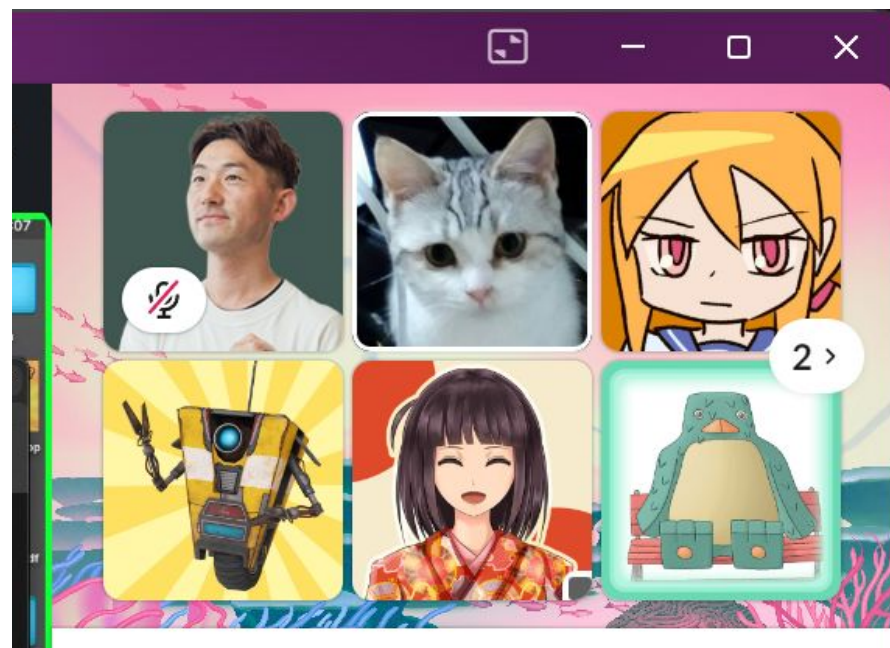
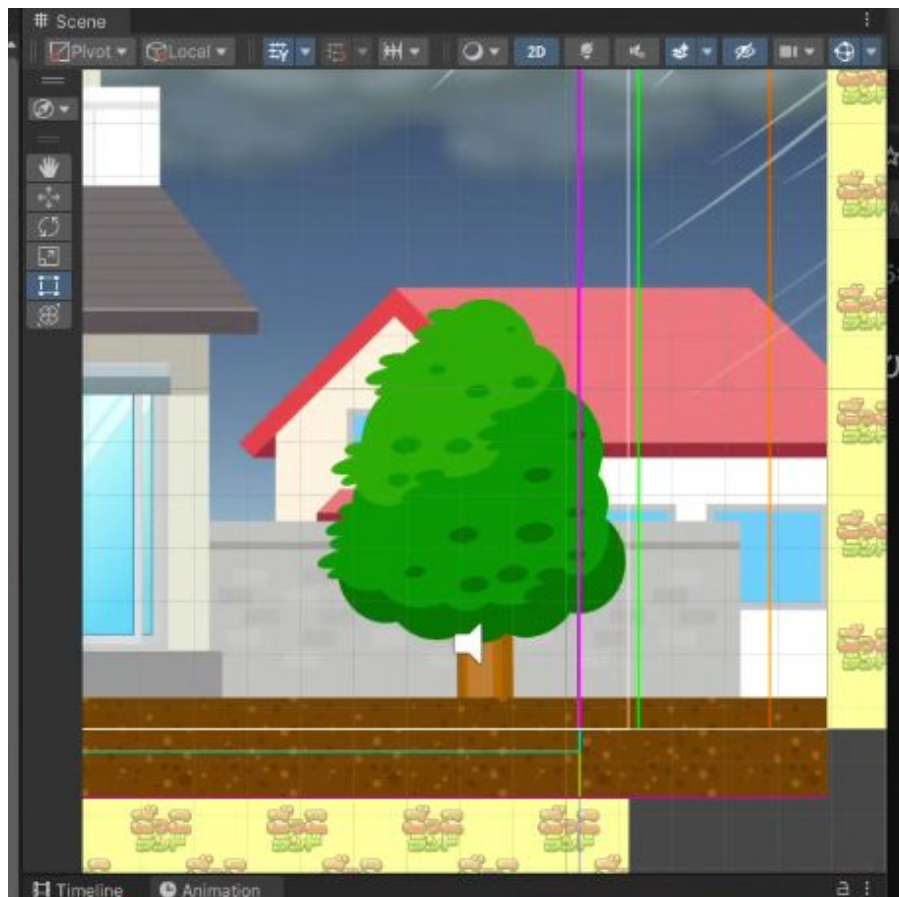
お茶会



お茶会の概要

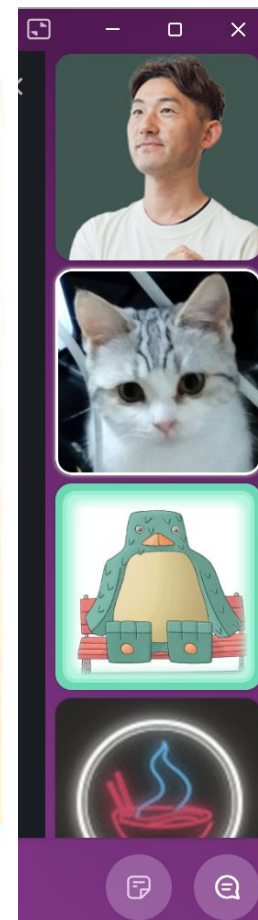
目的	業務進捗報告などの定例ミーティングとは違い、 軽めの業務相談や雑談をより気軽に行うために設置されたもの
利用ツール	Google Meetや、チャットツール内の通話機能
頻度	多くて週に3日
対象	部・チーム単位
内容	業務相談や雑談など会によってさまざま
参加人数	3~4人程度

チャットツールの通話機能を利用した業務相談



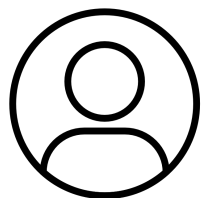
チームや部署によりお茶会で話される内容も様々です。
業務相談の会もあれば、雑談会もあります。画面の ON・OFFなども縛らず自由な形式で参加できます。

チャットツールの通話機能を利用した雑談

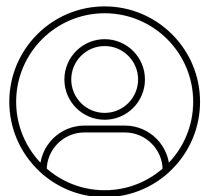


業務相談ではなく、雑談をする機会もあります。
上記は、趣味で購入した 3Dプリンタを使って、弊社のキャラクターを作成したという体験談になります。

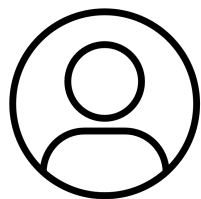
お茶会に参加したメンバーの反応



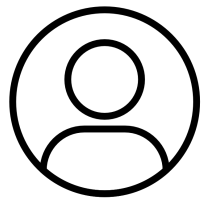
業務中は、雑談機会がほとんど無いので息抜きになる。



普段、業務でのやり取りしかないが、業務外の一面も知れる機会となっている。



資料準備も不要。コンスタントに開催していて気軽に相談出来る。

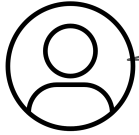


部やチームを超えた参加も可能で、他の取組なども参考に出来る。

3つのコミュニケーション施策を 行った結果

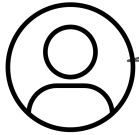


- 既存メンバーの人となりがわからない。



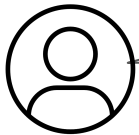
LTやランチでの雑談を通じて、人となりがわかるようになった。

- 普段交流をするメンバーが、自チーム or 業務で関わる方に偏っている。



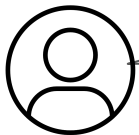
他チームや、他部門の方とも業務上で声をかけやすくなった。

- 業務で関わらない人とは、話す機会が少ない。



本来テレワークだけでは、接点を持つことが出来ていなかった。

- 業務中に雑談ベースで話すキッカケが無い



雑談も含めた交流機会が増えた事で、会社が益々好きになった。

テレワークを続ける理由



時間の有効活用



- 従業員のうち、7割にお子様がいる。
- オフィスまでの片道移動時間が 1時間以上かかるところにお住まいの方が多い
- 育児と並行して就業しているため、お迎え時間のギリギリまで就業したい方が多い



少しでも多くお子様と触れ合う時間を大切にして欲しいという思いから

移動時間をかけずに
すぐに育児に入りたいという社員の声に答えた

結果として
「時間の有効活用」に繋がっている



住む場所にとらわれない 働き方の実現



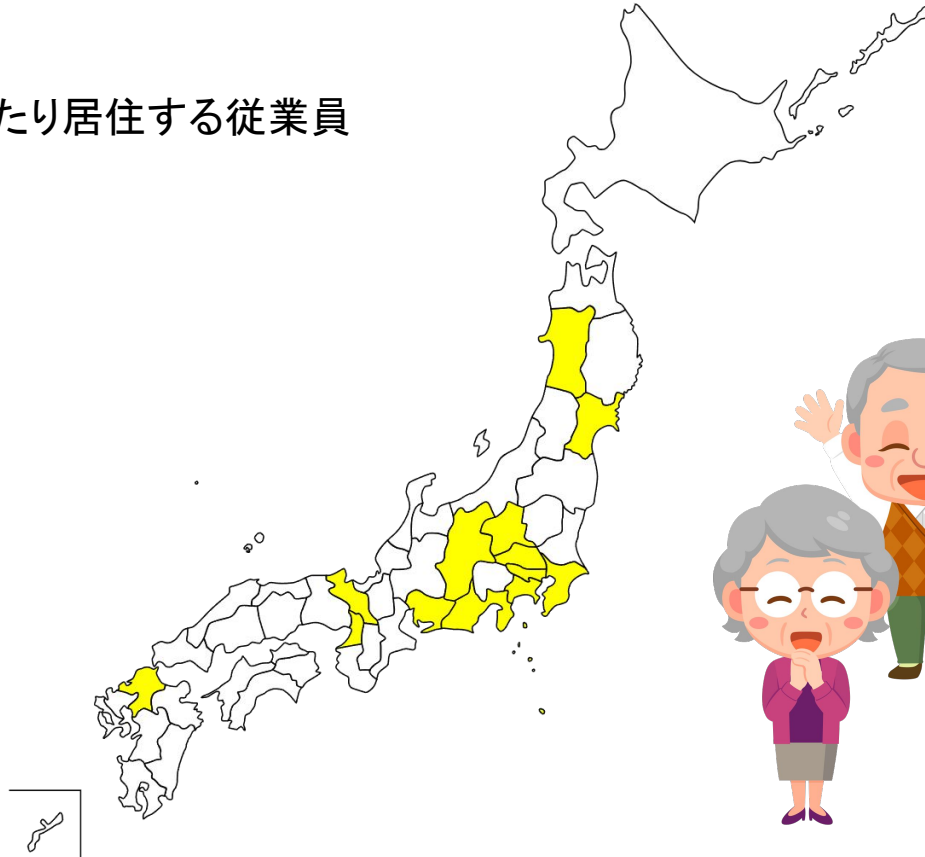
テレワークを続ける理由:住む場所にとられない働き方の実現

◆従業員の居住地

フルリモートでの就業が可能なので関東地区以外の在住の方が増えてます。

▼首都圏を除く2府7県にわたり居住する従業員

- 秋田県 1名
- 宮城県 1名
- 群馬県 1名
- 長野県 1名
- 静岡県 2名
- 愛知県 2名
- 大阪府 1名
- 京都府 1名
- 福岡県 1名



首都圏を除く2府7県の居住比率が20%。採用時から関東地区外にお住まいの方もいれば、入社後に転居した方など、人により要因はさまざまです。

まとめ



「とにかくコミュニケーション」

従業員が幸せに働くため、住む場所にとらわれず優秀な方を採用するため、これからもテレワークの継続を予定しています。テレワーク中心だからこそ、「コミュニケーション」への対策はとにかく必要不可欠です！

そのために、今後も社内アンケートを定期的実施したり、限定された機会ではありつつも、リアルなコミュニケーションも交え社員の声に、常に耳を傾け寄り添っていけるよう努めてまいります。

ご清聴
ありがとうございました

